

2016年7月13日

各 位

オリックス株式会社

パキスタンのイスラム金融会社を買収 ～日系企業初、イスラム信託金融（ムダラバ）に参入～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、パキスタンの現地法人 ORIX Leasing Pakistan Limited.（本社：パキスタン・カラチ、CEO：Shaheen Amin、以下「OLP」）が、このたび、同国のイスラム信託金融運用会社およびリース会社を買収しましたので、お知らせします。

OLP は、大手上場イスラム信託金融事業者「Standard Chartered Modaraba（以下「SCM」）」の運用会社 Standard Chartered Services of Pakistan Ltd.（以下「SCSP」）、および大手上場リース会社 Standard Chartered Leasing Ltd.（以下「SCLL」）の全ての発行済み株式を取得し、SCLL を吸収合併しました。

オリックスは、1986年に政府系金融機関などと合弁でパキスタン初のリース会社として OLP を設立し、機械設備や自動車のリース事業を展開しています。OLP は、1988年にカラチ、ラホール、イスラマバードの各証券取引所に上場し、現在ではパキスタン最大手のリース会社として市場を牽引しています。

本件買収により、パキスタンでのリース事業をさらに拡大するとともに、オリックスグループとして初めてムダラバ（Modaraba）事業に参入します。ムダラバとは、日本における上場投資信託に似たイスラム金融の一つで、集めた資金を事業者が投資・運用し、その収益を出資者に配当するものです。今後、SCM を通じてイジャラ（Ijarah：イスラム金融式リース）やムラバハ（Murabaha：トレードファイナンス）など、さまざまなスキームでのイスラム金融の提供が可能となり、高まるイスラム金融ニーズに対応することができます。

SCLL は、1993年に設立され、OLP と同様に3つの証券取引所に上場するパキスタン第2位のリース会社です。SCM は、1987年に設立されたパキスタン大手のイスラム信託金融で、カラチ、ラホールの各証券取引所に上場し、主にプラントや機械、自動車を対象としたイジャラなどの金融資産で構成されています。

Press Release



パキスタンは、2016年度のGDP成長率目標を4.7%とする経済成長国であり、今後も経済の伸張に伴い金融市場のさらなる拡大が期待されます。

オリックスは、80年代にイスラム圏であるパキスタンに進出して以来、リース事業のノウハウの起点として、オマーン、エジプト、サウジアラビア、アラブ首長国連邦に現地法人を設立し、リース事業を展開しています。これまでに培ったアジア・中東地域でのネットワークを生かし、今後もさらなる金融サービス事業の拡大および多角化を目指してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
グループ広報部 橋本・中村 TEL : 03-3435-3167

■ 「SCSP」 概要

会社名 : Standard Chartered Services of Pakistan Ltd
設立 : 1987 年
事業内容 : イスラム信託金融 SCM の運用

■ 「SCM」 概要

会社名 : Standard Chartered Modaraba
上場 : パキスタン証券取引所
設立 : 1987 年
事業内容 : イスラム信託金融 (ムダラバ)
総資産 : 約 52 億ルピー (約 50 億円(*1)) (2015 年 6 月末時点)
ホームページ : <http://modaraba.standardchartered.com/>

■ 「SCLL」 概要 (OLP との合併前)

会社名 : Standard Chartered Leasing Ltd.
上場 : パキスタン証券取引所
設立 : 1993 年
事業内容 : リース
総資産 : 約 52 億ルピー (約 50 億円(*1)) (2015 年 6 月末時点)
拠点数 : 4 カ所

(*1)パキスタンルピー≒0.97 円 (2016 年 6 月 28 日現在)